

と辞世歌を残して天正十一年五月十二日積島において斬首された。三十才であった。中川清秀の遺領茨城十三万石は一万石を加増されて、播磨国（兵庫県）三木城十三万石に転封となった。弟の秀成は兄と共に秀吉の国内統一のために転戦を続けた。

文禄元年の朝鮮出兵（文禄の役）に当たり三千余人の手兵を引き連れて朝鮮出兵となった。秀政は父清秀に似て、機敏で武勇にすぐれた武将であった。秀政は福島政則・長曾我部元親・蜂須賀家政ら六名の武將の棟りょうとして出発。釜山沖の海戦では家臣の柴山両賀が敵を焼討の功をたてたのをはじめ、中川軍は大いに善戦した。

【表紙写真解説】

昭和三年十一月、藩祖を祀る毛利神社が城山山頂天守台に創建された。正面石段もこのとき築造された。表紙写真は「絵はがき」にされた創建当時の毛利神社で英文の説明も付されている。昭和二十年四月二十六日の空襲で破壊された。（写真提供・並河正明）



毛利神社側面（神殿と拝殿）